

永田城跡と法界地蔵

高島七頭がいた城跡

上永田の集落を訪れると大きな森が2か所、目に入ります。集落の西側の森が※式内社の長田神社（祭神は水神の性格をあわせもつ事代主神とされる）で、北側の森が永田城跡にあたります。



永田城跡地形実測図

城主の永田氏は高島七頭の一家で、嘉禎元年（1235）佐々木信綱の二男高信が高島郡田中郷の地頭職になり、その一族が越中・能登・朽木・永田・横山・田中・山崎です。

これらの武士団は、鎌倉幕府の「在京人」や室町時代には幕府の「奉公衆」として活躍しました。上永田周辺には「城出」や「堀ノ内」の地名が残されていて、かつて城が存在していたことを想起させてくれます。

また、「てらかやぶ」と呼ぶ現地には一辺約40m×25mの規模を有する長方形の郭があり、南・北・東面に土塁の遺構が確認できます。（図参照）現在は単郭の様相ですが本来は複郭の平城と想像されます。

指定文化財の石仏

永田城跡の南方には、天台真盛宗長盛寺があります。山門は平安時代の山岳寺院である長法寺から移されたといわれています。

山門西には北面する石造の地藏立像があらわれます。地元では「法界地藏さん」と呼び親しまれ、霊験あらたかなお地藏さんで足の痛みなどに良く効くと伝えられ、水をあげるとよいとのことでもお参りされる方が多いそうです。

像高は1・27mで、下部から1・68m、幅55cmの舟形光背をつけた丸彫です。像容は、右手に錫杖、左手に宝珠をのせています。お顔は風化がみられます。製作年代は鎌倉から室町時代と推定され市指定文化財になっています。この法界地藏は永田城跡と相まって上永田の歴史を今に伝えてくれています。



法界地藏さん



長盛寺山門と法界地藏さん

※式内社 平安時代に編さんされた『延喜式』神名帳に記載されている神社

☎ 高島歴史民俗資料館 (36) 15533

編集感

2021年も残り1か月となりました。皆さんはどのような1年だったでしょうか？私が一番印象に残っている出来事は、オリンピック聖火リレーです。当日は、無観客での開催ということで、会場の臨場感が皆さんに伝わるように広報しなければ！と、雨にも負けず意気込んで臨みました！

希望と栄光に満ちた聖火ランナーの英姿を広報たかしま7月号で見返してもらえると嬉しいです。(Y)



広報たかしま

令和3年

12

月号

No.263

発行▼高島市

編集▼政策部企画広報課
〒241-0202 滋賀県高島市新旭町北畑5の5番地

☎ 0740 (25) 8000(代)
http://www.city.takashima.lg.jp
✉ t:info@city.takashima.lg.jp